

SMILE

笑う門には福来る

TOYOOKA



人めぐり
熱いだんじり魂で
町に活気と笑顔を

町めぐり
各支部情報
業めぐり
まちゼミ
職員紹介

御菓子司 みなとや
久保田 一三さん



「みなとや」では和菓子の他に麦わら細工や出石焼など、数多くの伝統工芸品も販売されています。特に始まりは江戸時代とも言われている麦わら細工は、職人の技術と麦の繊維に当たる光の反射が繊りなすきめ細やかな色彩に目を奪われます。「みなとや」には製品化当初の原画が今も残されていて、全てのデザインはその原画を元に考えだされているそうです。また、技術は伝え広めるものとの考えから、多くの技術者を輩出されています。

菓子屋としてはうちが一番古いと思います。僕は、3年間京都の老舗で和菓子の修業をして城崎に戻り、和菓子作りを始めました。そして、一昨年から父の後を継いでいます。

和菓子の魅力

和菓子には色づかいも味も濃すぎない上品な奥深さがあります。また、和菓子に合わせるお茶の種類や食べ方によって、さらにおいしさを増します。ひとつが強調しすぎない、すべてをうまく取り入れてひとつにまとまる、日本人の感性であり奥ゆかしさを感じられるのも和菓子の魅力です。

その味を表現する上で、やはり食材にはこだわっていききたいです。あんな小豆ひとつとっても全然味が変わってくるので、買っていたいたお客さんに喜んでもらえるような商品をと常に心がけています。

城崎人の精神

祭りに始まり祭りに終わる。城崎の人のほとんどがだんじりで一年が回っていると言っても過言ではないです。小さい頃からだんじりを見て育ち、厳しい上下関係や人との繋がりを教えてもらってきたので、やる時はやる熱い気持ちと団結力が人一倍強いんです。これがあるからこそ町の強い一体感が生まれているんだと思います。

また精神的な面では城崎の格言でもある、「町は一つの旅館」という考え方が大きいんです。一人が儲かるんじゃなく、みんなで町を盛り上げていこうという精神が無意識に根付いていると思います。観光地



ここにしかないオンリーワンでありたい。

みなとや

1560年頃から創業されている、老舗の和菓子店「みなとや」。その16代目であり、今年から豊岡市商工会青年部の部長もされている久保田一三さんにお話を伺ってきました。「見て美しく、食べておいしく、思わず笑顔がこぼれるお菓子」をモットーに、代々受け継がれていく和の広がる繊細な甘味を大切にしながら、そこに新しいことを取り入れ、城崎でしか手に行かない特別な贈り物をお客様に届けたい。そこから町全体を盛り上げていければ…。そんな熱い想いを話していただきました。

御菓子司 みなとや
代表取締役
久保田 一三さん



でここまで仲がいいのも珍しいと思いますし、どこかで町のためにという意識があるんだと思います。その気持ちが若い人たちにも強いので、とてもいいことだと思っています。

僕は、城崎に生まれて良かったと思っています。なので、次の世代にもここに生まれて良かったと思ってもらえるような町をつくるのが、僕らが頑張っていきたいことではないんです。震災後にこの町をつくってくれた先祖の方たちの気持ちを引き継いでいけたらと思っています。

活気つく町をつくるために

城崎だけでは人を呼べない時代になってきているので、市全体でひとつの力になればもっと活気つくと思います。豊岡市って、日本の良いところがたくさん詰まっています。よく良い町だと思えます。山も海も温泉もあるし、食も遊びも魅力的なところがいっぱいあるんで、もっともつとそこを活かして大きい観光地になっていければと思っています。そのため、住民も先のことを考えていかないといいないし、市の中でもっと交流して縁をつくっていくことが大事だと思います。

自分の所ばかり見るんじゃなくて、豊岡市全体でできることを見つけていくことがこれからは大事だと思います。たとえば、町のゴミ拾いだとか、自分のできることを小さいことでも何でもやっていくことが町づくりになると思っています。

誰かがやるというより、自分がやらなアカンという気持ちで忘れないうに町に貢献していきたいです。

旅館から和菓子店へ

商売を始めた当時は旅館をやっていた、今の店になったのは明治の中頃からので、約120〜130年ぐらいいろいになります。旅館から和菓子店を商売にしたという詳しい経緯はわかりませんが、当時の城崎は旅館が主で、周りに土産物などの店がなかったんです。そこで曾祖父は、たくさんある旅館の一軒よりも違うことをとしたい、何でもある土産店を始め、和菓子店に特化していったんだと思います。城崎自体が古い町ですから、100年以上上商売している店はたくさんありますが、

Interview



らん月 栗羊羹



ぼたん



かした餅



たじまびじん

「みなとや」の和菓子は、食べると、こしあんのしっとりとした甘みに包まれます。上品な甘さがしつこくなく後を引くおいしさです。生菓子は2日しか日持ちせず、配送も行っていないので、ここでしか味わえません。

こだわりの持ち続けて

みなとやはこれまでと同じようにこだわりのもってやっていきたいです。お客様が城崎に来て、ここにしかない物をお客様が喜んでもらえるような、オンリーワンの店であり続けたいです。和菓子作りは正直今の時代は厳しいです。値段が高いし手間もかかります。でも有り難いことに城崎というとても恵まれた場所がありますので、受け継いで来たことはしっかりと残していきたいし、その中で新しいものも取り入れつつ守っていきたくです。店を大きくしたいとは思っていませんが、欲がないわけじゃないので、ちょっとだけ背伸びもしながら大切に引き継いでいきたいと思います。



概要

事業所名 / 御菓子司 みなとや
住 所 / 〒669-6101 兵庫県豊岡市城崎町湯島416
T E L / 0796-32-2014
F A X / 0796-32-2015
M a i l / minatoya@mxn.kansai.ne.jp
U R L / http://www.kinosaki-miyage.com

竹野 TAKENO

報告

第28回北前まつり

●5月3日(祝)

竹野浜北前館周辺で第28回北前まつりが開催されました。

当日は、時折強風の吹く天候となりましたが、すべての行事が行われ北前交流市場では、商工会青年部、女性部竹野支部が出店しました。

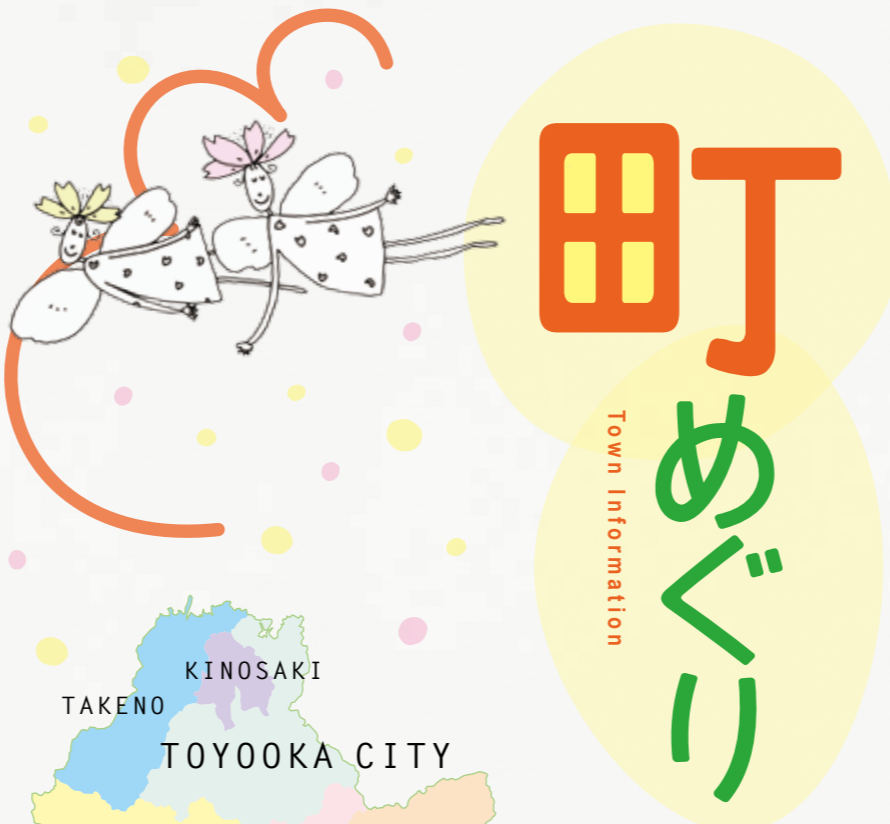
青年部は、「北前焼きそば」「フランクフルト」を販売しました。北前焼きそばには、赤イカを入れて竹野らしさを工夫しています。例年ながら長蛇の列となり、大忙しの部員は準備していた300食をあっという間に完売しました。

女性部は、昨年より手がけていた「赤イカめし」と、このたび新商品として「竹野赤イカカレー」を販売しました。試行錯誤を重ねて軟らかく煮込んだ赤イカとイカ墨を使い、まろやかでスパイシーな竹野のビーチで食べる大人の味を披露しました。正午には限定100食を完売してしまうほどの人気でした。

竹野支部では、竹野産の材料を使用し竹野産の調味料で味付けした竹野オリジナル料理「おしあげ料理」を情報発信し、竹野地域の観光客増加を図っています。

青年部の北前焼きそば、女性部の赤イカのイカメシの販売には、「おしあげ料理」PRのシールを貼り、観光客に周知するようにしました。

今後も、竹野一丸となって竹野地域のPRに取り組む活動を展開したいと思います。



お知らせ

城崎の主な行事予定

- 5月9日(金)～6月8日(日) 城崎温泉泊覧会(城崎オンパク)
- 7月21日(月) 第38回城崎温泉ふるさと祭り
- 9月20日(土) 但州湯島の盆

【お問合せ先】
豊岡市商工会城崎支部
TEL(0796)32-4411

報告

外国人向け観光ガイドブック等作成事業

城崎を訪れる外国人の方々にも分かりやすく情報を提供できるように簡単な英語の説明と日本語も標記し、手軽に持ち歩けるように工夫しています。

「城崎温泉飲食店マップ」

城崎温泉の外湯や景観スポットなどの主要施設と飲食店の情報を載せています。



城崎 KINOSAKI

報告

大谿川ボランティアスタッフ

町内を流れる大谿川周辺のゴミ拾いを、今年度も21の団体の方々に協力していただいています。観光客や地域住民の皆様にも気持ちよく過ごしていただくことができ、大変喜ばれています。



「城崎こよみ」夏・秋編(旧暦)と城崎周辺の日常を掛け合わせ、四季を大切にしたい旬な食材、スポット、自然や文化・風習などを紹介した小冊子です。



お知らせ

日高の行事予定

●7月27日(日) 日高夏まつり

報告

神鍋ハートフル食プロジェクト

4月24日(木)にスポーツ栄養士 こだまみ先生による「スポーツ選手の献立作成シミュレーション」を実施しました。昨年の復習を進めて行く中で改めてスポーツ選手の食事の大切さを学びました。6月に行われる神鍋高原マラソン全国大会で神鍋ハートフルのメンバーが心を込めた「おもてなし」を実施します。お楽しみに!

次回6月10日です、ぜひご参加ください!



日高 HIDAKA

報告

離職者等再就職訓練「ビジネスパソコンコース」

●5月8日(木)～7月4日(金)
10月21日(火)～12月19日(金)

日高職業訓練協会からの委託を受けて、離職者対象の再就職支援としてパソコンの基礎から応用操作の知識、実務会計基礎知識やコミュニケーション能力などを学ぶ訓練を実施しています。1人でも多くの方が再就職に繋がりますようサポートしていきます。



お知らせ

出石の主な行事予定

- 6月15日(日) 会員親睦ソフトボール大会(豊岡市商工会出石支部主催)
- 8月14日(木)・15日(金) 出石盆踊り

【お問合せ先】
豊岡市商工会出石支部
TEL(0796)52-2113

出石 IZUSHI

町内の飲食店に活気を!
出石の夜に賑わいを!



提灯 但馬銀行出石支店より寄付

報告

いずし夢酒場

●4月24日(木)

世代や団体の枠を越え、出石の未来・夢について語り、気軽に意見や思いを交わす場を持ちたい!そんな思いから出石支部観光部会により考案された「いずし夢酒場」。町内の飲食店を一軒貸し切り、司会・進行は行わず、出入り自由な酒場として、飲食放題3,000円の会費制で実施しました。4月24日に開催された第1回では、「若い子達と飲む機会が持て元気をもらえた」「新たな繋がりが出来た」などの嬉しい声が聞かれ、今後も1～2ヶ月に1度のペースで開催予定です。第2回までは部会で決定し依頼するが、以降は料飲組合の飲食店に協力依頼し、参加店を順番に会場として開催予定。将来的には参加店で運営出来ることを目標に、地域の親睦を深める機会として継続していきたいと思っています。



第1回 居酒屋ちょっと

報告

チューリップ10万本で描く大きなフラワーアート “ちびまる子ちゃん”

●4月18日(金)～4月29日(祝)

但東地域の春の風物詩「2014たんとうチューリップまつり」が、12日間にわたり豊岡市但東町畑山の「たんとう花公園」で開催されました。会場内には全部で70万本の色とりどりのチューリップの花が咲き誇り、フラワーアートでは大人気アニメ「ちびまる子ちゃん」が来場者をお迎えしました。但東支部からも受付係・駐車場係のスタッフとして、役員・総代・女性部員・事務局が出役し、青年部員は「ホンモロコすくい」のバザー出店を行いました。但東で養殖されているホンモロコを金魚すくいの要領ですくったり、唐揚げにして食べたりと、多くの来場者に喜ばれました。今年は会場を使用してガーデンウエディングが催され、来場者へ幸せのおすそ分けとして女性部員が作られたハート形クッキーのプレゼントもありました。開催期間中天候にも恵まれ、毎年このチューリップまつりを楽しみにして来られる遠方からのお客様をはじめ、多くの来場者で賑わいました。



職員紹介



本部・日高支部

「為せばなる、為さねばならぬ何事も！」

(三段目左から) 経営支援課長兼地域業務課長 廣岡智明 企画総務課長 長谷川健二 三木勝博
(二段目左から) 成田孝志 三浦健太 小野さおり 福田清子 土肥美記
(一段目左から) 柿本佳子 丸岡敦子 事務局長 西村昇一 小野山真理子 山口佑己子



出石支部

「親しみやすい職員を目指そう！」

(後列左から) 堀田 伸 所長 森田きよみ
(前列左から) 竹田ゆかり 寺内ゆかり



竹野支部

「やる気！元気！真笑夢気(まえむき)!!」

(左から) 太田垣洋子 所長 福井文恵



商工会は
行きます
聞きます
提案します

新しい職員が入りました！

はじめて、5月より豊岡市商工会城崎支部で働かせていただくことになりました、羽尻幸生と申します。出身は但東町で城崎のことは分らないことが多いですが、1日も早く仕事を覚え、事業主の皆様、ひいては地域活性化の役に立つよう頑張っていきたいと思っておりますので、是非ともよろしくお願い致します。



城崎支部

「やります！がんばります!! 温泉パワーだ!!!」

(左から) 井瀬泰代 和田照美 所長 伊藤隆幸 羽尻幸生



但東支部

「小さな努力を積み重ね、信頼される職員を目指そう！」

(左から) 所長 藤田和久 早水悠真

お客様には満足を、お店には新規顧客を、そして街に賑わいを生む仕組み

まちゼミ

事業者らが暮らしの知恵、専門知識を教えます！



お客様にとって

買い手よし

- ・無料で知識が得られる、楽しい、満足
- ・普段悩んでいたことを解決できる
- ・得た知識で普段の買い物力の向上
- ・新しいお店の開拓、信頼できるお店、新しい仲間が見つかる
- ・社会生活に必要なコミュニティあるお店、街、商店街が近くに存在する有意義な環境



近江商人の商いの心得

まちゼミの魂は
さんぼう

「三方よし」
の精神!

お店にとって

売り手よし

- ・お店を知ってもらうチャンス、新規売上につながる
- ・その分野についての専門性が向上する
- ・お店のスタッフとの協力体制が整う(信頼が深まる)
- ・お客様にその分野に関心を持ってもらえる
- ・お客様の声を直接聞ける(どんな事に関心があるのか)
- ・普段から相談に行ける間柄(信頼関係づくり)
- ・変わりゆく環境の中で、自分の商売の見直しができる

商店街にとって
(地域・街)

世間よし

- ・地域にあるたくさんのお店が紹介できる
- ・買い回りにつながる、街の賑わい創出
- ・お店とお店の繋がりが強くなる・街の連帯感アップ
- ・地域全体のイメージアップに
- ・安心・信頼できる街を PR
- ・行きたくなる店・商店街・街になる

まちゼミとは?

各商人(事業者)が講師となり、予約制で各店の専門知識を受講者(お客様)に無料で受講したり、実技体験を提供する少人数(約2人~15人位)のゼミナールです。お店の存在・特徴、店主のこだわり、人柄を知っていただくと共にお客様とのコミュニケーションの場から、信頼関係を築きます。個店の魅力を引き出し、それがまちそのものの賑わいづくりに貢献する仕組みとして全国各91か所に広がり、各地に多くのファンを作り出しています。イベントで人を集めるのではなく、お店(商店街)に来ていただく理由づけをどんどん増やし、お店、まちに根付いて頂く取り組みです。



豊岡市商工会日高支部での取り組み

第1回とくまるゼミナール	2012.8.17~9.20	参加店数 12店 12講座
第2回とくまるゼミナール	2013.1.19~2.11	参加店数 16店 19講座
第3回とくまるゼミナール	2013.8.24~9.14	参加店数 19店 19講座
第4回とくまるゼミナール	2014.3.21~4.20	参加店数 23店 25講座

第5回とくまるゼミナール
2014、秋 開催予定!!

たくさんの方に参加頂きありがとうございました!

今後もお客様に喜んで頂き、お店が繁盛し、街の賑わいに寄与し“みんなが幸せになること”を目標に、そしていつの日か但馬全域に広がっていく事業になりますよう取り組んでいきます。

業めぐり
Various Works

豊岡市商工会管内 景気動向調査を実施します。



豊岡市商工会では昨年に引き続き豊岡市商工会管内の景気動向等について、独自調査を実施します。この調査は地域の経済状況の変化や実態を収集、提供することにより、より効果的な経営改善普及事業に役立てるものです。管内の中小企業150企業を対象に年4回の調査を行いますので、ご協力をよろしくお願いいたします。

商売繁盛セミナー（経営革新計画書作成）

- 目的**
- ①自社の強みを認識する
 - ②ひとの考えを知り、自らを省みる
 - ③実行に移せる取り組みが想定できる
- 日時** 平成26年6月21日(土)・22日(日) 10:00～17:00
- 場所** 豊岡市商工会館
- 講師** 株式会社 流通プランニング研究所
代表取締役 川上正人（中小企業診断士）



- 対象者** 今後の事業継続の方向性や短期的業務改善の方向を見出したい企業すべて。
- ①やりたい取り組みはあるものの、なかなか実行に移せない方
 - ②自分のアイデアを、ひとがどう感じるか、意見を聞いてみたい方
 - ③やりたいことやアイデアが思い浮かばないが、何かしなければとお考えの方

定例個別相談会

- 日時** 平成26年6月19日(木) 9:00～18:30
平成26年7月5日(土) 9:00～18:30
- 場所** 豊岡市商工会館
- アドバイザー** 川上正人氏（中小企業診断士）
- 相談人数** 4名/日
- 対象者**
- ①販路開拓、販路拡大をお考えの方
 - ②販売不振でお悩みの方
 - ③資金繰りでお悩みの方等

ビルくんとケイちゃん



あなたの回答が、日本経済の力になる！

平成26年経済センサス-基礎調査
平成26年商業統計調査を一体的に実施します

- 経済センサス-基礎調査は、我が国の事業所・企業の基本的構造を明らかにするとともに、各種統計調査の母集団情報の整備を図ることを目的として実施します。
- 商業統計調査は、我が国商業の実態を明らかにし、商業に関する施策の基礎資料を得ることを目的として実施します。
- 調査票は平成26年6月末日までにお届けします。7月1日以降に提出をお願いします。

◆調査の意義・重要性をご理解いただき、ご回答をよろしくお願いいたします。

平成26年
7月1日
(火)

平成26年
経済センサス-基礎調査
商業統計調査

経済センサス 検索 商業統計調査 検索 <http://e-census-syoutyoku.stat.go.jp/>

総務省・経済産業省・都道府県・市区町村

豊岡市商工会

- 本部 / 〒669-5311 豊岡市日高町日置 65-1 TEL.0796-42-4751 FAX.0796-42-4350
- 竹野支部 / TEL.0796-47-1771 ■ 城崎支部 / TEL.0796-32-4411 ■ 日高支部 / TEL.0796-42-1251
- 出石支部 / TEL.0796-52-2113 ■ 但東支部 / TEL.0796-56-1178

編集後記…頑張っている企業、魅力を情報発信している地域にスポットをあて、広く会員の皆様にお知らせしています。タイトルも笑顔で企業活動が行えるように願い、「SMILE TOYOOKA」(スマイルとよおか)として会報を発行しています。